

第2回大磯カーニバル

1955年（昭和30）7月24日～31日実施

プログラム

- 1日目 美人コンテスト 歌謡漫談の夕
- 2日目 納涼映画会
- 3日目 八景音頭踊り
- 4日目 納涼映画会
- 5日目 八景音頭踊り
- 6日目 納涼映画会
- 7日目 相撲大会 花火大会 八景音頭踊り
お囃し万灯船
- 8日目 仮装大行進 納涼映画会



美人コンテストの審査員

★ 納涼映画会

北浜海岸にスクリーンが登場。いろいろな劇映画やニュースなどが上映されました。

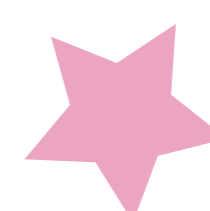
★ 相撲大会

海岸に設置された土俵で、青少年による相撲大会が行われました。神奈川新聞社が後援し、優勝者には優勝杯が贈られたようです。

第2回大磯カーニバルは、全7回のカーニバルの内、最も盛大に行われました。

全日程8日間の内、ハイライトとなったイベントは美人コンテスト、そして最終日の仮装大行進です。仮装大行進では、仮装参加者の他、美人コンテストで選ばれたミス大磯も参列しました。

プログラム番外のイベントとして、カーニバルの様子を撮影した写真コンクールも行われ、大磯町在住の写真家 濱谷浩が審査員を務めました。



美人コンテスト

応募者の中からミス大磯1人と準ミス大磯2人を選んだコンテストです。大磯小学校の講堂を会場として、公開審査が行われました。審査員は、第1回の仮装コンクールでも審査員を務めた獅子文六、安田鞞彦に加えて、作家の大岡昇平、後に吉田茂邸を設計する吉田五十八、エリザベス・サンダース・ホームを開設した澤田美喜らが務めました。



コンテストの一コマ

★ 八景音頭踊り

第1回のカーニバルで披露された大磯八景音頭踊りは、第2回でも活躍しました。大磯婦人会がおそろいの浴衣で登場し、海岸で華麗な踊りを披露したようです。

★ お囃し万灯船

紅提灯で飾られた船が、照ヶ崎海岸周辺を走りました。船からは花火も打ち上げられ、さながら「動くネオン」として美しい情景が人びとを楽しませました。